

草津市地域公共交通網形成計画(案)に係るパブリックコメントの実施結果について

草津市地域公共交通網形成計画(案)につきまして、パブリックコメントを実施しましたところ、貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。

お寄せいただきました御意見に対する市の考え方を以下のとおりまとめましたので、公表します。御意見の内容につきましては、今後施策を推進するにあたり、参考にさせていただきます。

(1) パブリックコメントの実施結果

- 1 実施期間:平成30年7月15日から平成30年8月14日まで
- 2 意見提出者数: 3人
- 3 提出方法
直接提出:0通
FAX :2通
メール :1通
- 4 意見総数:5件

(2) 寄せられた意見

No	意見の概要	市の考え方
1	<p>「誰もがいつでも安心して移動できる持続可能で健幸な交通まちづくりの実現」を目指して福祉との連携を考えるなら、移動支援サービスを利用する場合の条件を変えることが必要と思う。</p> <p>また、公共施設等の閉館時間を考慮した民間バスやまめバスの運行ダイヤの見直しを、自家用車の利用を減らすという意味でも、対策を講じてもらいたい。</p>	<p>御意見の内容を参考にしつつ、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の実現に向けた具体的な取組を今後、検討してまいります。</p>

2	<p>電車に比べてバスの運行本数が極端に少ないため、単なる公共交通機関の確保に留まらず、運行本数を増やし、自家用車がなくても移動しやすい環境づくりが大切だ。</p> <p>また、市内を自由に行き来する上で、一日フリーパス(一日500円程度が望ましい)の検討には賛成だ。</p>	<p>御意見の内容を参考にしつつ、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の実現に向けた具体的な取組を今後、検討してまいります。</p>
3	<p>免許保有率の目標値について、高齢者の免許証保有率が増えている中で66.6%以下となったとしても、高齢者の免許証保有者数が増えれば目標達成とはならないのではないか。</p> <p>免許証の返納が進まない背景には、交通手段がない、不便という理由が統計で出ている。</p>	<p>高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境づくりを進め、運転免許証自主返納者を増やすことにより、運転免許証保有率を現状の66.6%以下に抑える目標値としております。</p>
4	<p>草津市地域公共交通活性化再生協議会について、交通事業者の中には、福祉輸送や福祉有償旅客運送や介護タクシーなど、きめ細かい隙間の交通利用者の移動を担っている事業所を入れることや、高齢化が進むことから、ケアマネ等の福祉現場からの意見も望ましいと考える。</p>	<p>草津市地域公共交通活性化再生協議会の委員構成については、御意見の内容を参考にしつつ、今後、見直しを含めて検討してまいります。</p>

5	<p>地域支え合い運送支援事業は、利用者の危険度が高いこと、運転リスクが高いこと、補償が充実していないこと、健康管理、飲酒検査等が確立されていないことなどから、ボランティア活動であるが、はたして有意義といえるかという点で疑問の施策である。</p> <p>助成をする地域交通として、守山市のように福祉有償旅客運送等の法律(道路運送法第79条)に定められた事業所の充実、もしくは福祉輸送(道路運送法第78条)などの利用者の安全を重視した輸送の活用をすべきと考える。</p>	<p>地域支え合い運送支援事業については、事業主体において運行上の安全確保や、利用者への運行内容の周知に努めていただく必要がありますものの、地域内における障害のある方や高齢者等の移動支援だけではなく、地域での支え合いやつながりも高まっていくという観点から、有意義な施策であると考えております。</p> <p>また、福祉有償運送事業については、御意見の内容を参考にしつつ、今後、見直しを含めて検討してまいります。</p>
---	--	---

(3) 計画(案)への反映について

パブリックコメント実施結果を踏まえた、計画(案)の修正・変更はありません。